

# 豊かな社会は 規制改革の 推進で

教師  
指導編

中学校・高等学校用

## 消費者・利用者本位の社会をめざして

### 目次

規制改革の推進が「私たちの生活」と「わが国の経済」 にもたらすものは何か..... 1	授業の展開(1時限)..... 6
労働者派遣を例に見てみると..... 1	活用の手引き..... 8
中学校 指導の機会(学習指導要領との関連で)... 2	QUESTION 1..... 9
指導のねらい..... 2	QUESTION 2..... 11
授業の展開(1時限)..... 3	QUESTION 3..... 12
高等学校 指導の機会(学習指導要領との関連で)... 5	解答と解説..... 13
指導のねらい..... 5	最近における規制改革の主なあゆみ 関連機関等 URL リンク集

資料は2部構成となっており、それぞれコピーしてご利用いただけます。

1.教師指導編(全16ページ) 2.本編(全24ページ)

#### 資料の利用方法

- 1.教師指導編は授業の指導要領としてご利用ください。
- 2.本編は授業や生徒の補習・調べ学習等としてご利用ください。

# 規制改革の推進が「私たちの生活」と「わが国の経済」にもたらすものは何か

政府が全力を挙げて進めている構造改革には4つの柱がある。「金融システム改革」と「税制改革」、「歳出改革」、そして「規制改革」だ。規制改革は、わが国の経済の活性化を妨げている規制を廃止または緩和し、新しい社会経済システムを作り出すことをめざしている。

これまで、古い規制の数々が事業者間の公正な競争を妨げ、優れた労働力や技術を埋もれさ

せてきた。これらの貴重な資源は、民間活力を引き出すことによって巨大な需要と雇用を創出し、私たちに安くて品質のよい商品やサービスを大量に提供してくれることになる。

規制改革によって世の中がどれほど快適に、便利になるものかを、実例によって示し、また、今後の規制緩和のヒントを一緒に考えてみてほしい。

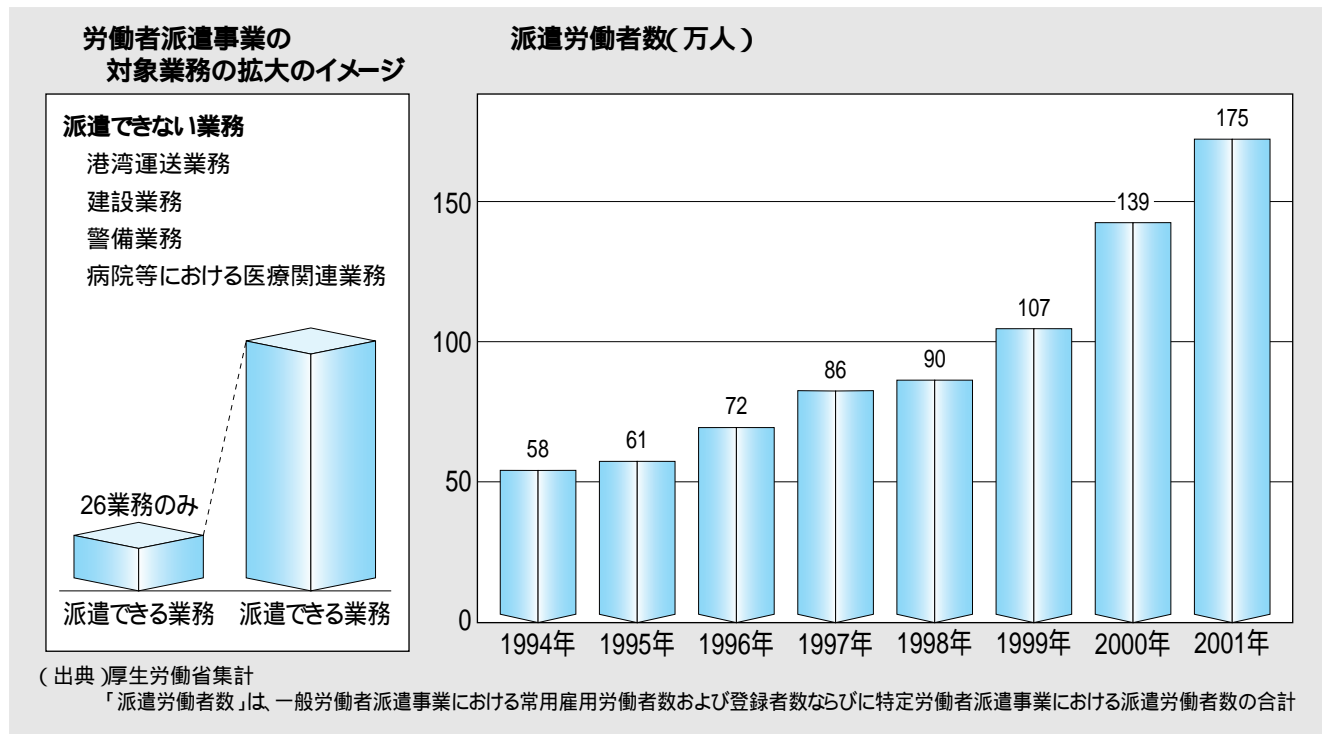
## 労働者派遣を例に見てみると……

個人の就業意識の多様化が進み、仕事と生活のバランスのとれたライフスタイルを選択する傾向が若年層を中心に見られるなか、このような働き方に対応していく必要性が高まり、1999年12月に、それまでソフトウェア開発業務やファイリング業務など26業務に限定されていた労働者派遣事業の対象業務を拡大する労働者派遣法改正が行われた。その翌年から、派遣労働者は大幅な増大を示し、20%を超える伸び率

を見せるにいたっている。

また、1999年の改正以後も、物の製造の業務への派遣禁止や原則1年の派遣期間の制限などの規制の緩和について検討が行われ、2003年6月には、物の製造の業務への派遣解禁や派遣期間の制限の延長などを内容とする改正法案が成立し、2004年3月に施行されることとなっている。

1999年の規制緩和以後、派遣労働者数が増加しています。



この副教材は、現在推進されている構造改革の柱の一つである「規制改革」について解説している。単にその内容を伝えようとするものではなく、規制改革によって、何が、どのように変わっていくのかを探り、理解を深め、今後の方向について考えるきっかけとすることを目的としている。具体的な関連分野は以下ようになる。

社会科

本編の項目	「学習指導要領」の内容	
	歴史的分野	公民的分野
1 規制改革は消費者・利用者本位の取組み	(5)近現代の日本と世界 の「ク 高度経済成長以降の我が国の動きを世界の動きと関連させてとらえさせ、経済や科学技術の急速な発展とそれに伴う国民の生活の向上や国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことについて気付かせる」	(1)現代社会と私たちの生活 の「ア 現代日本の歩みと私たちの生活」
2 規制改革の事例		(1)現代社会と私たちの生活 の「ア 現代日本の歩みと私たちの生活」 (2)国民生活と経済 の「ア 私たちの生活と経済」 「イ 国民生活と福祉」
3 技術の進歩と規制改革		(1)現代社会と私たちの生活 の「ア 現代日本の歩みと私たちの生活」 (2)国民生活と経済 の「ア 私たちの生活と経済」
4 規制改革のさらなる推進に向けて		(2)国民生活と経済 の「イ 国民生活と福祉」 (3)現代の民主政治とこれからの社会 の「イ 民主政治と政治参加」
5 構造改革特区で実現する規制改革		(2)国民生活と経済 の「イ 国民生活と福祉」 (3)現代の民主政治とこれからの社会 の「イ 民主政治と政治参加」

指導のねらい

日本政府が推進している規制改革を、生徒たちは人ごとのように見ていないだろうか。改革は、意外なことに身近でいくつも行われている。実際の例を挙げながら、規制改革について理解を深めさせる。

## 授業の展開（1時限）

	学習内容	指導内容	指導上の留意点
導入	規制改革は消費者・利用者本位の取組み	<p>【発問】「東京のタクシーの初乗り運賃で、一番安いのはいくらか知っていますか？」</p> <p>一番安いのは500円で、ワンコインタクシーと呼ばれている。これは規制改革があって実現した運賃で、それ以前は一般的には初乗りの2 kmは660円だった。それがなぜ多様化したのかを考え、話し合わせる。</p>	<p>規制というのは、ある一定のルールを作ることだ。それが時代に合わなくなった場合、ルールをゆるめたり、とりやめたりする必要がある。つまり、それが改革である。ルールがとりやめられることで、競争が自由になり、質の高いものが安くなる。つまり、規制改革は消費者・利用者に有益な政策であることを理解させる。</p>
展開	規制改革の事例	<p>生徒たちがすでによく知っている身近な事例もあるだろう。あるいは、改革によるものとは思われていない意外な事例もあるので、その両方を知らせて解説しよう。一般的な事例では、ドリンク剤等の一般小売店での販売、携帯電話の料金の低廉化と普及、あるいはADSLの急増にも規制改革の力が働いていることを理解させる。</p>	<p>身近な事例をとりあげ、できるだけ改革の経緯を分かりやすく説明し、生徒たちの成長過程や両親の育った時代背景などと引き比べて実感を伴って考えさせる。また、知られていない事例は、問題点がどこにあったのかをよく理解させよう。</p>
	技術の進歩と規制改革	<p>低燃費・低公害の燃料電池車は、小さな発電所といわれる燃料電池を搭載することから多種多様な規制を受けている。また、普及に欠かせないインフラである水素ステーションも同様に多種多様な規制を受けている。一般家庭に導入すれば一軒の電気はこれでまかなえるが、住宅から3m離して設置し、さらに電気主任技術者が必要だといふ。規制が、技術の進展の消費者・利用者への還元を阻んでいる例はこの他にも数多いことを念頭に、学習に入ることが大切だ。</p>	<p>「改革なくして成長なし」が構造改革の基本的な考え方である。わが国の労働力、技術力、研究開発力は、優秀でかつ貴重な資源であり、古いシステムでは活用しきれないのが現実だ。民間活力を最大限に引き出し、需要と雇用を掘り起こすことが大切であり、それを規制改革で実現しようとしていることをよく理解させる。</p>

	学習内容	指導内容	指導上の留意点
展 開	技術の進歩と規制改革	時代が変わり、生活が変わっても、古いシステムはフレキシブルには変化しない。それがバブル経済崩壊後の日本経済が低迷を続ける一因でもある。特にITのように技術革新のスピードの速い分野においては、規制が新しい技術の発展にそぐわなくなり、さらなる技術進歩にブレーキがかかってしまうこともある。規制は技術進展や快適さの阻害原因ともなることを理解させる。	
ま と め	規制改革のさらなる推進に向けて	規制改革をさらに加速的に推進するために、2003年3月に「規制改革推進3か年計画」の再改定が行われ、7月に「規制改革推進のためのアクションプラン・12の重点検討事項」に関する答申をとりまとめた。特にアクションプランで挙げられた12の重点検討事項について、解説しながら生徒とともに検証する。どのような事項が規制改革の対象になっているのかを知ることが、日本の明日を知ることでもあるのだと理解させる。	<p>アクションプランの検討事項には、これまで市場原理になじまないとされてきた医療・福祉・教育・農業などの分野が挙げられている。規制や官製市場の温存で、サービスの質の向上や量的拡大が妨げられてきた分野であることも理解させる。</p> <p>新しいニュースにも触れておきたい。郵政民営化や道路四公団の民営化問題、あるいは日本版グリーンカード、外国人医師・看護師の医療行為解禁などは、連日新聞をにぎわす事項である。</p>
	構造改革特区で実現する規制改革	構造改革特区は、特定分野の規制を地域限定で緩和する、いわば一種の社会実験である。特区の考え方と事例を解説し、特区で行われていることが、やがては全国規模での規制緩和につながることを伝える。	構造改革特区での規制緩和は始まったばかりである。近隣の特区の例を挙げ、取り組みがどのような成果をあげるかを具体的に解説するよう心がける。



この副教材は、現在政府が全力を挙げて推進している「規制改革」について、その内容を解説するとともに、改革の根底にあるもの、改革がもたらすものについて言及している。低迷している日本経済、混迷が続く国民生活の現状を垣間見ながら、規制改革が実現しようとするものに触れているので、生徒は自身と社会との関係づけを発見することになる。具体的な関連分野は以下のようになる。

公民

本編の項目	「学習指導要領」の内容	
	現代社会	政治・経済
1 規制改革は消費者・利用者本位の取組み	(2)現代の社会と人間としての在り方生き方 の 「イ 現代の経済社会と経済活動の在り方」 「ウ 現代の民主政治と民主社会の倫理」	(2)現代の経済 の 「ア 経済社会の変容と現代経済の仕組み」
2 規制改革の事例		(2)現代の経済 の 「ア 経済社会の変容と現代経済の仕組み」 (3)現代社会の諸課題 の 「ア 現代日本の政治や経済の諸課題」
3 技術の進歩と規制改革		(2)現代の経済 の 「ア 経済社会の変容と現代経済の仕組み」 「イ 国民経済と国際経済」
4 規制改革のさらなる推進に向けて		(1)現代の政治 の 「ア 民主政治の基本原則と日本国憲法」 (3)現代社会の諸問題 の 「ア 現代日本の政治や経済の諸課題」
5 構造改革特区で実現する規制改革		(1)現代の政治 の 「ア 民主政治の基本原則と日本国憲法」 (3)現代社会の諸問題 の 「ア 現代日本の政治や経済の諸課題」

指導のねらい

生徒自らの視点に立った時、関心を抱く規制改革は何か。あるいは社会の明日のために、関心を抱かなくてはならない改革もある。学校で、家庭で、また友人との会話に登場するような身近な規制改革を提示し、社会との関わりを考えさせる。

## 授業の展開（1時限）

	学習内容	指導内容	指導上の留意点
導 入	規制改革は消費者・利用者本位の取組み	<p>【発問】「高速インターネット通信のADSLが急激に普及したのはなぜだか分かりますか？」</p> <p>インターネットは高校生にも親しい存在になったが、高速でしかも安く使えるようになった背景に、規制の緩和があることを示す。ADSLは2000年に郵政省(現総務省)令改正後、利用料金が大幅に低廉化し、加入者もわずか2年で500倍以上に急増した。規制緩和の具体的な内容を考えさせる。</p>	<p>導入部分で高校生が興味を抱く対象を扱うことによって、まず規制改革への関心度を高め、「規制」とは何か、何のために行うのかを話し合わせる。規制という枠の拡大、あるいは枠の撤廃の必要性を、消費者として、利用者として、日本国民として考える問題であること知らせる。</p>
展 開	規制改革の事例	<p>【発問】「みなさんが知っている規制改革の事例があれば、挙げてみましょう」</p> <p>授業時点で新聞をにぎわしている規制改革があれば、まずそうした事例から学んでいこう。過去の事例を紹介する際には、高校生にとって身近な事例、例えば携帯電話やADSLなどが好例となる。一方、意外な事例も生徒には興味がわくだろう。航空運賃の自由化、保育所への民間参入、国立大学教員の兼業規制緩和などは、事例として興味深いはずだ。</p>	<p>生徒たちに自分年表を作らせよう。そして、規制改革事例についても年表を作らせ、JRやNTTの民営化などとも比べさせると、改革の実感がともなうだろう。また、あまり認識されていない改革事例については、規制の問題点がどこにあったのかを理解させる。</p>
	技術の進歩と規制改革	<p>規制が技術開発を阻んでいたものの一つとして燃料電池を挙げる。ようやく自動車に搭載されることになり、クリーンな動力源として注目されているが、多種多様の規制を受けている。燃料電池を一般家庭に導入すれば、家一軒の電気はこれでまかなえるのだが、そのためには住宅から3m離して設置しなければならず、しかも電気主任技術者が必要だ、ということになっている。</p>	<p>現在ある規制は、過去に作られた法律や通達である。古くは終戦直後のものがまだ効力をもっている場合がある。燃料電池やITなど、近年の技術進歩の速さを認識させることが重要である。それに反して規制緩和や廃止が停滞していることを対比して考えさせる。</p>

	学習内容	指導内容	指導上の留意点
展 開	技術の進歩と規制改革	別の事例として「ICタグ」を挙げ規制によって技術振興が妨げられてきたことを示す。ICタグの場合、この技術がわが国において掘り起こす市場は、一説には1兆円を超すともいわれている。技術の発展にそぐわなくなった規制は、こうした可能性をほうむりさってしまう可能性があることを理解させる。	わが国の貴重な資源である労働力や技術、研究に対する規制を緩和すれば、巨大な需要と雇用を掘り起こすことになるのは明白だ。規制は技術の進展を阻むだけでなく、技術発生の芽さえ摘み取ってしまうことになりかねない。こうした点にも目を向けさせよう。
		技術の進展に規制が立ちはだかっている例が多くあることに注目させる。	
ま と め	規制改革のさらなる推進に向けて	総合規制改革会議は規制改革を加速的に推進するために、2003年7月に「規制改革推進のためのアクションプラン・12の重点検討事項」に関する答申をとりまとめた。アクションプランでは、一部の医薬品の一般小売店での販売解禁や株式会社による農地の取得のほか、12の重点検討事項が挙げられている。一つずつ生徒と検証していく。規制改革の考え方の基本、原則がここに集約されていることを理解させる。	アクションプランの検討事項には、これまで市場原理になじまないとされてきた医療・福祉・教育・農業などの分野がとりあげられている。いわゆる「官製市場」が自由化されようとしていることを理解させる。新しいニュースとしては、郵政三事業や道路四公団の民営化がある。また高校生の興味ある話題としてはオートマチック二輪車の限定免許新設などもある。近隣の特区などを含めて今後の規制改革の進み方について幅広く話し合おう。
	構造改革特区で実現する規制改革	構造改革特区は、特定分野の規制を地域限定で緩和する、いわば一種の社会実験である。特区の考え方と事例を解説し、「わが町の特区申請」などを話し合わせる。	



## 活用の手引き

### 本編の各内容を、こんなふうに活用してください。

考えてみようSTEP1・2(本編P. 19-20)

調べてみよう(本編P. 21)

まとめてみよう(本編P. 22)

#### 基本的な考え方

表題にあげた本編の各項目は、生徒たちが日々の生活からの考察、あるいは調査、学習によって、わが国のさまざまな規制とその緩和について理解を深めることを目的としている。それぞれの活用の方向性についてまとめておこう。

#### 考えてみようSTEP 1

生徒たちの生活に身近な規制改革を知ってもらうために、コンビニを観察してみる。規制改革が、商品だけでなくいろいろなサービスにまで及んでいることが分かるだろう。

#### 考えてみようSTEP 2

高校生にとって興味深い話題である高速インターネット通信のADSLをとりあげた。規制を緩和することの重要さが、ADSLの利用料金と加入者数の推移によく表れている。ここでは、改革の力を身近な話題で知らせることにより、規制改革そのものに対する興味度を増大させるねらいがある。

そしてさらに、民間人校長(本編P. 3)やドリンク剤等の販売(本編P. 5)、携帯電話(本編P. 6)、燃料電池(本編P. 9)など、生徒が関心を抱く事例への精査につなげていきたい。

#### 調べてみよう

規制改革によって、長期間にわたって低迷している経済を再生するとはどういうことなのか。また、改革が遅れているのはどのような分野で、なぜ遅れていたのか。探すべき資料のリストアップから、調査すべき内容をまとめ、その上でとりかかる必要がある。

#### 資料のヒント

バブル経済の始まりから崩壊まで  
国鉄からJRへ  
電電公社からNTTへ  
特区でのさまざまな取組み

#### まとめてみよう

規制はすべからく緩和すべし、というのが原則だが、すべてが規制改革に当てはまるわけではない。緩和によって状況が悪化する例もある。その一つがディーゼル車の排気ガス規制である。これは逆に規制を強化する対象としてあげられている。この場合は、規制強化によって新しい技術が開発され、それが国際競争力につながっていく可能性がある。

緩和した規制の事例はたくさん紹介したので、ここでは、緩和しない、あるいは強化する規制について調べ、まとめることにする。





## QUESTION 2

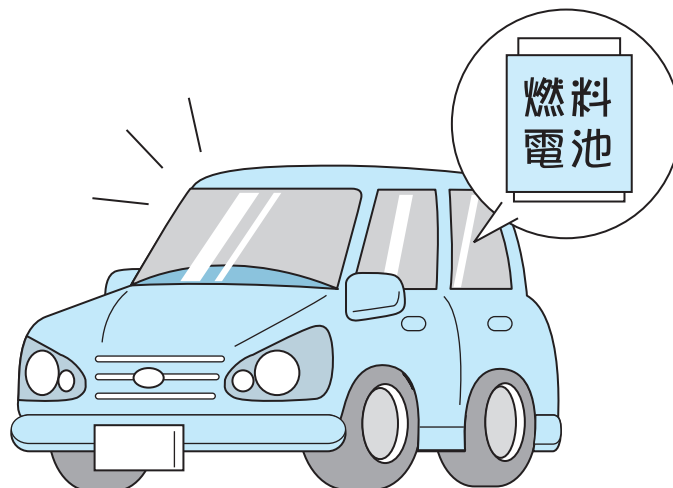
次の文章の( )に正しい言葉を入れなさい。

Q1

総合規制改革会議は、内閣総理大臣に任命された民間委員( )名と専門委員とで構成されます。

Q2

小さな発電所といわれる燃料電池は、水を酸素と( )に分ける電気分解を応用したもので、現在自動車に使われています。



Q3

規制改革の推進は、大きなプラスを国民生活に実現しますが、例えばディーゼル車の( )規制などでは、逆に規制を強化する必要があります。

Q4

非収益的な慈善サービスとして、医療や福祉・保育、教育などの分野は( )原理になじみにくいとされ、これまでなかなか規制改革が進みませんでした。

# QUESTION 3

次の各設問に答えなさい。

Q1

総合規制改革会議は、一部の医薬品をコンビニなどの小売店で販売することを課題の一つとして提案しています。この提案の背景と消費者・利用者の得る利便性について200字程度でまとめなさい。

---

---

---

---

Q2

高速インターネットのADSLの加入者が急増しています。世界と比較した場合の日本のADSL事情と急速に普及した理由を200字程度で述べなさい。

---

---

---

---

Q3

公立学校における民間人校長の任用について、感想または意見を200字程度でまとめなさい。

---

---

---

---

Q4

規制改革が経済を活性化し、私たちの生活を豊かにするのはなぜでしょう？規制改革の理念と実際に目をむけて考え、200字程度にまとめなさい。

---

---

---

---



## QUESTION 1

Q1

### b . 金融システム改革

構造改革の柱は4つあり、規制改革のほか歳出改革、税制改革、そして金融システム改革である。司法制度改革は新しい社会にふさわしい司法制度を実現するための改革。排出ガス規制改革というものはない。(本編P.1参照)

Q2

### c . 社会的規制

市場を自由にしておくと望ましい価格水準が確保できないと思われる場合に実施するのが経済的規制。それに対して、消費者や労働者の安全と健康の確保、環境の保全、災害の防止などを目的とする活動に、基準や制限を設けるのが社会的規制である。(本編P.2・11参照)

Q3

### c . 株式会社等による農地の取得の解禁

ドリンク剤の一般小売店での販売は1999年から、携帯端末の売切り制は1994年より自由化された。株式会社等による農地の取得の解禁は、アクションプランで規制改革が検討されているものである。(本編P.5・6・11参照)

Q4

### a . 輸出入の拡大

規制改革は市場の自由競争を促進し、価格の低廉化および商品の質とサービスの向上をもたらすことになる政策である。したがって、消費者と利用者本位の政策といえる。(本編P.15・18・22参照)

Q5

### a . 金融関係

金融関係が147事項でトップ。次いでIT関係が128事項、医療関係104事項、住宅・土地、公共工事関係が98事項で続いている。(本編P.2参照)

Q6

### c . 500円

「ワンコインタクシー」と呼ばれ、それまで2kmの初乗りの660円が一般的だったが、2000年の道路運送法改正以降、運賃の多様化が実現した。初乗り500円タクシーは東京、名古屋、大阪などで登場している。(本編P.7参照)



b . Suica

JR東日本では、非接触型ICカード技術を利用した交通カードSuicaを導入している。改札機とSuicaは無線で交信し、必要な情報交換を行う。(本編P. 10参照)



b . 道路関係四公団の民営化

道路関係四公団(日本道路公団、首都高速道路公団、阪神高速道路公団、本州四国連絡橋公団)の民営化については、2001年12月に閣議決定された「特殊法人等整理合理化計画」に基づき、道路関係四公団民営化推進委員会において四公団に代わる組織などについて意見書が提出された。現在、その具体化について政府において検討を行っている。(本編P. 18参照)

## QUESTION 2



15

(本編P. 18参照)



水素

(本編P. 9参照)



排気ガス

(本編P. 22参照)



市場

(本編P. 21参照)

## QUESTION 3

以下のキーワードや内容が、文中にきちんと挿入されている文章かどうかを見極め、判断することとしたい。



コンビニ希望商品1位、薬剤師、一般小売店 (本編P. 12参照)



利用料金は世界でも最低水準、2年間で500倍以上の加入者増 (本編P. 20参照)



幅広い分野、ユニークさ、新しさ (本編P. 3参照)

Q3は、感想、意見を聞いているので、正しい解答というよりも問題を正しく理解しているかどうかについてみておきたい。



日本経済の再生、経済を活性化させる、民間活力の導入、需要・雇用の創出、消費者・利用者本位 (本編P. 1・2・11・21・22参照)

